

高齢者の外出支援対策の現況について



たけべ たかし
竹部 隆 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(委員長)

広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■カムチャツカ半島地震による影響 ■ 宿泊税導入後の観光客の動向

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 高齢者の外出支援対策への現状について、現在進められている状況の説明を求め

る。

【答弁】 平成29年11月に高齢者の行動等の特性の調査を実施した。外出が週2回以内の場合、生活が満足と答えた方、66・2%、週3、4日の場合は72・6%、週5日以上だと74%の結果が出ており、外出交流等の活動量が多ければ生活満足度は高く、少なければ満足度は低いと報告されている。

る。以上のことを踏まえ外出、交流を伴う支援策となるよう施策の組み立てを行っている。

概要については、外出に際しての費用負担の軽減策及び外出機会、外出のきっかけとなる施策の両面で検討を行っている。現在は事業の全体像の整理とITを活用した技術的な仕組みを構築するために関連企業とやり取りを行っているところである。所得制限の有無、支援対象者の絞り込みと利用回数や金額の制

限定など具体的検討を進めている。

【要望】 検討の進捗状況や内容について報告を聞いたが、今回の検討内容ではこれまで行ってきた試行などとは違うことが分かった。

今度こそ、多くの高齢者の期待を裏切らないよう迅速に制度設計を行い、遅くとも令和8年度当初には予算化され実施に向けて努力されることを要望する。

基金の運用状況について／ 防災訓練等について



こしむら おさむ
越村 修 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(委員長)

広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■ごみ処理広域化 ■ こども誰でも通園制度

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 昨年、基金のさらなる運用を提言したがその後の状況は。

【答弁】 令和6年度は環境衛生施設等整備基金10億円を国債購入し、運用額合計は25億円で債券運用収益は1,064万8千円となった。また残りの基金を1年未満の定期預金に預けており、令和7年度には約92億円を預け約4,500万円の収入を見込んでいる。

【質問】 県内の他の自治体例を見ると基金総額の60%以上を運用している事例もあるが運用額を増やせないか。

【答弁】 上限の20%を変更することは可能だが、それぞれの基金の実情に合わせ運用するものと考えている。しかし、収入の増加に有効な部分もあるので引き続き検討していく。

【質問】 避難所での暑さ対策に不満の声があったが、スボットクーラーは全所的に足りているのか。

【答弁】 昨今の気象状況等を踏まえると増設等の検討が必要と考える。

【質問】 酷暑の中での訓練で参加者の数も年々減少傾向だが時期の見直しを検討してみているかがか。

【答弁】 本年度の静岡県総合防災訓練は、熱中症対策などから10月19日に実施する予定であり、今後自主防災会等の意見を聞き検討していく。

【質問】 災害時の停電対策として避難所の必要容量に見合った非常用発電機や、非常用電源車などの手配調達先は確保されているか。

【答弁】 他自治体などの導入事例等を参考に今後対応する。